岐阜・三重

三重のサステナブル経営表彰企業 ④

新本社 省エネビル認証取得

久志本組

改築した新本社社屋（手前）や倉庫の屋上に設置している太陽光パネル

清水良保社長

総合建設会社として、宮公庁工事から民間工事まで幅広く手掛ける久志本組（清水良保社長）。創業120年を超える歴史と経験で培った技術やノウハウを生かし、三重県北勢地域を中心に事業を展開している。

環境面の活動では、昨年6月に改築した本社社屋について、国が推進している省エネルギービルの認証制度「Nearly ZEB（ニアリーゼブ）」を取得した。建屋は自前で建設。本社屋上に設置した太陽光パネルで電力を自家消費するほか、高性能な断熱材、省エネ型空調の活用などによって消費エネルギーを大幅削減。1次エネルギー消費量の90%削減に成功した。

1次エネルギー90%削減

働きやすい職場環境を整備していく上で大切な点の一つに清水社長は「従業員同士の活発なコミュニケーション」を挙げる。これを実現すべく力を入れているのが従業員の交流促進だ。新入、若手、中堅など世代別にそれぞれ会議や研修を開催。多いもので月1回程度開いている。また、食事会や社員旅行などを会員が参加できる主なイベントは社長自らが企画する。こうした取り組みを通じて、従業員に孤立感を感じさせない職場環境の醸成につなげている。

従業員の交流促進にも力

特に土木工事の仕事は、地域住民の生命を守ることに直結することから、地域との協力が何よりも不可欠だ。こうした観点から地域貢献活動にも積極的で、地元スポーツチームへの協賛は、サッカーやバスケなど複数種目のチームに行っている。また、年に数回、河川など地域の清掃活動を実施。災害発生時に飲み物を地域住民らに提供することができる災害救援型自販機を本社に導入している。

次世代を担う地域の子どもたちの育成にも注力。小学生から高校生まで、建設業の仕事などを紹介する出前授業の実施や職場体験・インターンシップの受け入れなどを実践している。

清水社長は「今後もサステナブル経営と真剣に向き合い、継続的に取り組んでいく」と話している。

（毎週木曜日に掲載）

【会社概要】本社岐阜市羽栗2935の5。電話059・331・6101。1902年創業。23年9月期の売上高は約49億円。従業員は70人。

岐阜支社
岐阜市柳ヶ瀬通1-12
岐阜中日ビル8階
TEL058(266)7576
FAX058(262)6571

東濃支局
多治見市上野町1-75
日映マンション壱602
TEL、FAX兼用
0572(23)7812

西濃支局
大垣市室本町2-39
竹中ビル203号
TEL、FAX兼用
0584(75)1289

三重支社
津市栄町4-255
津栄町三交ビル3階
TEL059(228)2545
FAX059(271)6311

四日市支局
四日市西中浜田町4-16
ロイヤルマンションHAMADA2階
TEL059(354)6116
FAX059(329)5333

最大級の天然水工場稼働

プレミアムウォーター中部 月産3億本超

最大で月間240万本のボトルを生産供給できる

【岐阜】天然水宅配事業のプレミアムウォーター中部（本社岐阜県北方町）は17日、岐阜北方工場の第2期工事が完了し、稼働を始めたと発表した。同工場は2022年2月に立ち上げ、総投資額は約35億円。国内最大級の天然水工場で、1本1ℓの水ボトルを月間240万本以上生産供給できる。

工場内では水の補充をはじめ、原料のペレット材からペットボトルを成型している。最大240万本の水ボトルを保管できる自動倉庫や、一度に1024本の水ボトルをトラックに積載できるトラックローダーも導入した。同工場を通して、東海、北陸エリアなどの約25万人のユーザーへ水ボトルを定期便で供給している。

同日、竣工（しゅんこう）式を開き、プレミアムウォーター中部の長野成規社長、戸部哲雄北方町長らが出席した。

長野社長は「北方町は水資源、物流など良い条件がそろっている。日本一の天然水工場と呼ばれるように事業を拡大したい」と話した。

亀山工場の操業開始

従業員100人、9割が県内雇用

キンレイ

キンレイ亀山工場の外観

【四日市】冷凍食品メーカーのキンレイ（本社東京都）は、亀山市に建設した工場の操業を開始した。茨城県、大阪府に次ぐ3カ所目となる生産拠点で、冷凍ラーメンや冷凍うどんを年1千万食つくる。3～4年後をめどに新たな生産ラインを導入するなど増産を計画。冷食の需要増に対応し、安定供給体制を構築する。

亀山工場の場所は亀山・関テクノヒルズ（関テク）内で、敷地面積は約3万6千平方メートル。工場建屋は3階建てで、延べ床面積が約1万5千平方メートル。包装・梱包（こんぽう）工程を中心に省人化機械を導入。総投資額は約70億円。

同工場に勤務する従業員は現在、100人で9割を三重県内で雇用した。今後の増産に合わせて250人まで雇用を広げる。

神都あかり & 鈴鹿翔琉

公式キャラ名前決定

若い男女の運転士をモチーフにした公式キャラクター

三重交通（本社津市）は、公式キャラクターの名前を決定した。キャラクターは若い男女のバス運転士で、男性の名前は「鈴鹿翔琉（すずか・かける）」、女性は「神都（しんと）あかり」とする。イベントや広報活動に活用する考えだ。

三重交通

グループ創立80周年を迎えたのを機にキャラクターを制作。キャラクターはアニメ風で、男性は真面目な性格の28歳、女性は明るい23歳。男女とも三重県出身の設定。

名前を一般から募集し、8件の応募から決定した。選ばれた前代運転士はドーム日本グランプリとして知名度の高い鈴鹿一方、女性運転士の「神都神宮のある伊勢のまち出社の伊勢の路線バス都バス、神都ライナー」。男女とも同社のお膝の地名が反映され、キの設定内容にも自慢が評価された。

地場産品ブラッシュアップ事業

瑞浪市が参加企業募

【東濃】瑞浪市は、「2024年度地場産品ブラッシュアップ事業」の参加企業の募集を開始した。2022年度から継続実施している事業で、セレクトショップのBEAMS（ビームス、本社東京都）が運営するビームスジャパンの監修で新商品開発に取り組む。

参加企業は、市内に店を置いて加工し、5れるビームスイヤーとの打加できることと参加企業は込みで、地場産をブラッシュ

ワークショップや雑貨販売

21日に多治見でタイル感謝祭

委員会主催）

ル産地・多治モザイクタイム前広場で開ルに触れて体ショップ、タ・商社による・の販売など分イベントは、ル産業の振興・行政・地域ともに、タイ催するのが目別イベントと

人まで雇用を

だ。

17日、関連どの関係者向会を開いた。席した三重県事は「増産になどで、さらの活性化を期と述べた。